

高知県労連
 No. 124
 発行：高知県労連書記局
 住所：高知市丸ノ内2-1-10
 〒780-0850 高知城ホール3階
 [TEL]088-872-3406
 [FAX]088-822-7969
 ホームページもご覧下さい。



第二十三回定期大会開催 反貧困闘争・組織拡大で意思統一

高知県労連は九月十二日、第二十三回定期大会を開催しました。会場の高知市東部健康福祉センターには代議員、役員など一〇〇名以上が参加し、反貧困闘争や組織拡大で意思統一しました。

挨拶では、西山執行委員長が、組織拡大やあつたか村なんでも相談会などの前進面に触れ、運動と組織の飛躍を訴えました。

来賓として日本共産党高知県委員会から元衆議院議員の春名なおあきさん、高知県革新懇事務局長の浜田節子さん、全労連幹事の中山益則さんから挨拶をいただきました。社民党高知県連合、高知県建設労働組合、

司法書士会高知支部、農民組合等十組織からメッセージが寄せられました。

田口書記長が二〇一〇年度運動方針案を提案。県労連運動の三つの柱（なくせ貧困、住み続けたい地域運動、戦争をしない日本作り）に加え、三つのセーフティネット（雇用、福祉、生活と公的サービスの確保による地域再生、県政浮揚の基本方向を提起。

この秋の運動の重点として「各自治体から貧困をなくそう」の自治体キャラバン・大運動、労働相談センターを軸にした組織拡大の飛躍、提案型運動の前進に向けた経営分析講座の成功、あつたか村相談会の実施などを呼びかけました。

討論には十五名が立ち、方針案を補強する形で報告を行いました。二〇一〇年度方針、会計報告、二〇一〇年度予算、規約改正案がそれぞれ満場一致で採択され、新役員を高月陽生を選任しました。

《役員紹介》

執行委員長	西山 潤
副執行委員長	榎原 正彦 畑山 佳代 岡原 孝 前田 研 杉村 浩司
書記長	田口 朝光
書記次長	金子 竜太 牧 耕生
執行委員	藤崎 豊 八木 敬三郎 森本 拓也 伊賀 良成 千崎 尚志 上村 隆敏 杉内 茂春 小松 茂弘 山崎 圭司 山下 のりとし 中岡 健太 森岡 晃篤 筒井 典子 溝渕 博生 砂田 紳一 吉岡 太史 小澤 幸次郎
会計監査	

針路

歩き遍路が増えていくという。リストラにあった中年労働者が目立ったのは数年前。いま、多いのは大学生。自己鍛錬を兼ねて、就活の話題作りに役立つのが目的らしい▲それもそのはず、今年三月卒の大学生の就職内定率は九一・八％。若年の完全失業率は、九・一％で五〇万人。その三分の一の十七万人が学卒未就職者。六〇社を面接し、内定が取れないケースも。これで「自己肯定感」を維持するには強い目的意識か精神力が必要▲「知って役立つ労働法」が、九月十五日に厚労省のHPに掲載された。「労働組合とは」の項目もある。憲法で労働三権が保障されていること、労組法で不当労働行為が定められていることなどが書いてある。もともと踏み込んだ記載があれば、思えないでもないが「二歩前進」である。「今の世は、居場所と逃げ場 欠けており」と詠でみた▲年末には「あつたか村」の相談会を今年も計画している。ホームレスの支援組織もつい先日結成された。失業が様々な「貧困の端緒」になっている。雇用の拡大と貧困をなくすネットワークを更に前進させたい。(田)

大会発言紹介

県国公 中山代議員



戦略会議側は
廃止・移換前提
の討論をしてい
る。地域主権改
革による効率
化・スリム化によつて、公共サービ
スの低下や切り捨てに繋がる可能
性がある。市町村合併や道州制に
よる、窓口の利便性低下が懸念さ
れる。

須崎労連 出原代議員



十月には再発
足後初の定期
大会を予定して
おり、今後も、
組織の強化拡
大を目指し地
域の労働者・住民の暮らしを守る
組織として発展していくよう活動
をしていく。

医労連 江口代議員



小泉改革によつ
て、社会保険関
係施設の売却が
行われた。厚生
年金・社会保険
病院については先の国会で、整理機
構が2年間延長となった。病院存

続に向けて運動を進めて行く。

自治労連 松繁代議員



公務の職場は
厳しい中、組織
は横ばいしてい
る。消防職場で
の労働権獲得が
出来れば、自治労連も大きく数
を伸ばす事ができる。非正規職員
との課題も含めて対応していく。

建交労鉄道支部

竹本代議員



皆さんの二
十三年間におよ
ぶ支援に感謝し
ます。もう一つ
の柱である、希
望者全員の再
雇用の確保という問題には引き続
き全力で取り組んでいく。

高知一般 前田代議員



最低賃金につい
て、生活保護と
の整合性が明記
されたが、地
域間格差は大幅
に広がっている。
全国一律最低賃金制度の確立を
掲げて奮闘していく。

県教組 畑山代議員



厳しい中でも、
私たちの運動に
よつて文科省は、
小学校一・二年
の三五人学級に
踏み出した。教
職員定数の増加、条件整備など
教育予算の増額を実現していき
たい。ぜひご協力下さい。

執行部(労働相談センター)

榎原 正彦



一人から組
織へを言葉に
活動に取り組ん
できた。その中
で、弁護士会
のような他の同
取組みを進める団体との連携も
取れている。奮闘していきたい。

県国公 梅原代議員



地域主権が実
施された場合、
自治体が経済難
を理由にハロー
ワークを一つに
統合するなど、
サービスが低下する恐れがある。
雇用対策で国民のために働いて
職員が減れば、対策も取れなく
なってしまう。署名への協力を。

青年部 坂本 智香



現在八単産十
一名が役員会へ
参加している。青
年実態アンケー
トに取り組み、
十月の県労連の
県交渉での要求作りにも取り組ん
でいる。もっと色々な単組から青年
を参加させていきたい。

執行部(高知一般)

山崎 圭司



高知一般へは
名で入ってくる事
が多く、少数では
法的に準じた闘い
が精一杯だが、多
数を組織し、それ
を超えた闘いを出来たことは大き
い。一人一人の労働者が学習してい
くには仲間が大事だと思う。

年金者組合 竹村代議員



年金者組合は、
発足当時から当
局から労働組合
だとは認められ
ていなかった。し
かし、今年からは
労働組合の対象となった。もは
や、年金者組合の数を無視するこ

とはできなくなった。今後も奮闘
していく。

自治労連 東松代議員



保育制度改
革は民主党政
権の元、ますま
す拍車がかつ
てきた。社会保
障としての保育
を守っていくために奮闘していく。

郵産労 筒井代議員



郵政正社員化
の試験前には、
高教組に協力し
てもらい、作文
の学習会なども
開催した。学習
と要求作成を中心とした職場会と
執行委員会を続けており、組合
の活性化と組織の拡大を目指して
いく。

南国労連 森本代議員



NPT再検討会
議への署名取り組
みを、革新懇など
の民主団体と共同
し、自治体を巻き
込む形で進めた。
地域の運動団体との繋がりを日常
から続けていたことが成功の鍵で
あった。

国鉄闘争の解決報告集会を開催

国労高知地区本部の主催の『JR不採用問題』和解成立！高知県報告集会が10月21日、高知城ホール四階で開催され、国鉄清算事業団闘争に連帯する高知の会や県労連傘下から130名が参加しました。



全労連青年部定期大会開催

9月18日(土)から9月19日(日)にかけて、全労連第23回定期大会を東京・全労連会館で開催しました。地方・産別から69名が参加し、実践の中での成功や失敗、課題などが出し合わせ、方針を補強しました。



教組共闘が経営者協会など申入れ

来春卒業の高校生の就職試験が解禁された9月16日、教組共闘の四国ブロックと高知県労連は、県経営者協会と高知県雇用労働政策課、県教育委員会へ高校生等の就職保障等について申入れを行いました。



タクシーベ이의早期設置を高知市ハイヤー協同組合と懇談

県労連、高南ハイヤー労組、高南労組の3者は9月6日、高知市ハイヤー協同組合とタクシーベイ(タクシー駐車可指定場所)の設置問題で懇談し、追手筋沿いのタクシーベ이의早期設置に向け、お互いの立場で取り組んでいくことを確認。



2010年秋の経営分析講座

	月 日	内 容
第1講座	11月 5日(金) 18:00～	「労組としての経営分析の視点」 田口朝光 県労連書記長
第2講座	11月11日(木) 18:00～	「初級簿記入門」 園 弘子氏 高知工科大学准教授
第3講座	11月16日(火) 18:00～	「企業分析の実際- 県内中小企業を例に」 森永 洋氏 A・I 経営コンサルタント 中小企業診断士
第4講座	11月18日(木) 18:00～	「合意協力型運動の実際」 生熊 茂実 全労副議長 JMIU 執行委員長

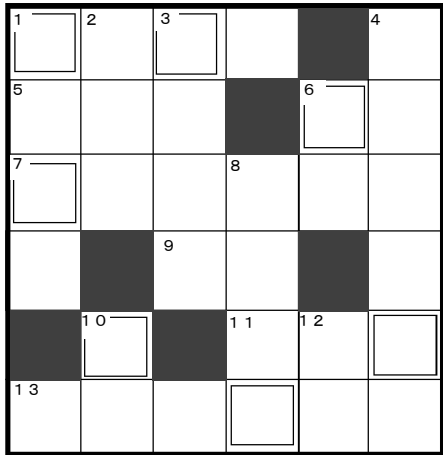
※会場はいずれも高知城ホール3階

極やん奮戦記 ⑬

八月の相談者は二十四人(女性十一人、男性十三人)でした。雇用形態は、正社員六人、パート・アルバイト三人、契約社員一人、臨時二人、不明十一人でした。事業所(民間二十二、自治体二)規模は、三十人以下十一人、三十人九十九人三人、不明十人。相談の契機は、電話帳五人、紹介六人、インターネット四人、県労連(宣伝)カーを見て一人、不明八人。相談内容は、解雇・退職強要六人、賃金・不払残業七人、年休二人、労働条件二人、社会保険二人、パワハラ一人、その他四人でした。特徴的な相談事例では、ある郡部の教育委員会の臨時職員として任用(四ヶ月の有期雇用契

約)され地元小学校の用務員として働いてきた男性から、社会保険加入問題で相談が寄せられました。小学校の夏休み開始期間までの雇用契約(任用)であったため七月末でいったん解雇されました。しかし、相談者は夏休み終了後の九月からも新たな任用を約束されていたので社会保険は打ち切られず継続できると考えていました。ところが解雇とともに社会保険を打ち切られました。社会保険継続の手続きとしては本人が保険料の全額を負担して任意に継続することができず、低賃金のもとで全額負担はあまりにも重すぎ生活に困る。何とかできないかというものでした。問題解決にむけ組合加入を進め相談を継続していますが、こ

の相談事例は、不安定雇用のうえ労働条件・待遇面でもいじりく差別扱いをされるという、いわゆる「官制ワーキングプア」の典型例です。一日も早い地方公務員法・臨時職員の任用制度(第二十二条)の改善が必要です。八月は、新規組合結成・一組合(ベビー施設で働く女性三人)が福祉保育労加盟し、高知一般労組に一人(清掃請負会社で働く女性)が個人加盟しました。高知県労連の〇九年秋の「組織拡大・強化月間」が、十月を準備期間として、十一月～十二月まで取り組まれます。労働相談センターとして月間成功のためおおいに奮闘していきます。



カギを解き、二重ワクに入る文字を並べ替えてできる言葉は何？
 「タテのキー」①種類の製
クロスワードパズル

【ヨコのキー】
 ①自分の作品を謙遜して言う
 ②オスとメスの一対
 ③花相似たり
 ④比喩的にあることをなすための資金
 ⑤でアウトの対
 ⑥思わぬ出費で
 ⑦注文リ
 ⑧はんに
 ⑨ゴルフ
 ⑩豪奢
 ⑪を取り戻した商店街
 ⑫ヘルニア
 ⑬

クロスワードパズル
図書券プレゼント
チャレンジ
《応募方法》
 クロスワードの答えと、機関紙の感想、組合名、郵便番号、住所、氏名、年齢を記入の上、県労連書記局宛にお送り下さい。
 抽選で三名様に図書カードをプレゼントします。(ハガキ、FAX、eメール)締め切りは翌月の二十日になります。

当選者の発表!
 八月号・クロスワードパズルの答えは「コウシエン」でした。当選者が抽選で決定しました。おめでとうございます。当選を逃した方もドンドン挑戦してください。
《当選者》
 濱田 明代さん (四万十市職労)
 濱田 浩介さん (全労働)
 熊谷 敏郎さん (四万十町職労)

月 日	コース
10/19(火)	本山町 → 土佐町 → 大川村 香美市 → 香南市
10/21(木)	佐川町 → 日高村
10/22(金)	東洋町 → 室戸市 → 奈半利町 仁淀川 → 越知町
10/25(月)	北川村 → 田野町 → 安田町 三原村 → 宿毛市 → 大月町
10/26(火)	土佐清水市 → 四万十市 → 黒潮町 大豊町
10/27(水)	南国市 四万十町 → 中土佐町 → 須崎市
10/28(木)	いの町 → 土佐市 馬路村 → 安芸市 → 芸西村
10/29(金)	檜原町 → 津野町
11/ 2(火)	高知市 → 広域連合 → 高知県

暮らしと医療を守る
全県キャラバン日程表
 医療、福祉、介護、年金など社会保障制度の相次ぐ改悪や派遣切り・リストラなど「構造改革」による「格差と貧困」が拡大し、その結果、雇用や生活、福祉のセーフティネットが壊され、国民のいのちと暮らしが脅かされています。
 私たちは、各自自治体からさまざまな形の「貧困」をなくす共同を呼びかけています。住民の参加を強めて、住民と行政担当者が共同して、あらゆる形態の貧困をなくすための知恵を出し合い解決していきましょう。(要望書等は県労連のホームページをご覧ください)

川柳紹介
 ホントはウン
 うそを 本当に言いくるめ (幸泉)
 貧困で
 死ぬもかなわぬ 戸籍あり (かさくま)
 夢はみな
 叶えるものだ 核廃絶 (源朝光)
時事川柳を募集!
 風刺をきかせた川柳をお寄せ下さい。

思いがけない事故に強〜い味方
自動車共済
 1.無事故割引の継続可能!
 2.24時間事故受付!
 3.安い掛金、補償は充実! **必ずFAXで見直しを!**
 4.組合員の立場で示談交渉!
 5.車両共済・人身傷害補償
 その他特約あり
全労連共済 TEL 03-5842-3751
 自動車共済部 FAX 03-5842-3752
 携帯サイトを開設しました
 ご覧ください

当面の予定

10/8	JR 問題解決報告集会
10/15	女性部定期大会 年金一揆
10/18	県交渉 (公契約・若者雇用)
10/23	高齢者大会
11/23	働く女性の交流集会
12/4	春闘討論集会 (午前) 平和のつどい (午後)